



ルシウム分を取られて歯が溶けると言う方もいますが、母体のカルシウムが胎児に取られるということはありません。妊娠すると歯が悪くなるのは、妊娠によるホルモンの変調やライフスタイルの変化が原因です。つわりで歯磨きをするのがおつくりになったり、食事や間食の回数が増えたりして口の中

## 妊娠と歯の関係

### 安定期になったら治療

の環境が悪くなり、むし歯や歯周病が悪化すると考えられます。基本的には規則正しい生活をして、丁寧にブラッシングをするなどして口の中を清潔に保つことが大切です。

妊娠中の歯の治療は妊娠中期(5~7カ月)の安定期であれば、ほとんどの方が問題なく受けられます。妊娠初期2~3カ月の間は応急

処置にとどめ、安定期に治療することをお勧めします。出産後は育児で忙しく受診できないことが多いので、できれば分娩までに治療を済ませておきましょう。妊娠初期に歯科医院で検診を受け、定期的な歯のクリーニングで歯周病を予防していくことをお勧めします。歯肉の健康な妊婦に比べ、中等度から重度の歯周病がある妊婦は早産や低出生体重児のリスクが数倍高いという調査結果もあります。胎児の十分な発育のためにも、歯と口の健康を保つようにしてください。

【問】現在、妊娠中です。同じく妊娠している友人に聞いたのですが、妊娠中に歯が悪くなりやすいというのは本当ですか。妊娠中に歯が悪くなったら治療は可能ですか。

(諫早市、31歳女性)

【答】昔から「一子を産めば一歯を失う」といわれるように、妊娠中に歯の健康を損なう人が多いようです。おなかの子どもに力



回答者 高橋 美和子  
諫早市天満町  
高橋歯科医院院長

#### 質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します(直接本人に回答はしません)。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページ(<http://www.nda.or.jp/>)も参考にしてください。